

テキルソウデアル。コノ話が第二ノ「**ロンブス**」ノ奮起ヲ促スコトニデモナレバ、モツケノ幸デアルト筆者ハ大ニ期待ヲカケテキル。猶コノ王家店ヨリ更ニ北方三里餘モ行クト熱水湯トイフ熱河ニハ稀シイ温泉池ガアル。何ンデモ一時ハ七十二棟ノ浴舎ガ軒ヲ連ネテ賑盛ヲ極メタサウデアルガ、今ハ膝行跛者が僅カニ不自由ナ半身ヲ漬シテキルトイフサビレ方デアル。

凌晨ノ一夜ガ無氣味ナ靜ケサノ裡ニ寢靜マルト、夢デハナイト思フガ、晝間ノ可笑サガコミ上ゲテ來ル。朝陽ノ下リ斜面デ蛇ヲ見付ケタト報告シタトキ、動物班ノ某氏ハ今度見タラ是非タノムトノコト。ソウダトアレバ、コノ次ハト覺悟ノホゾヲ決メテキタ矢先デアルカラタマラナイ。マツシグラニ追ヒ詰メテ尻尾ヲ擱ンデ垂シ上ゲタノガ三尺豊カナしゆれんくなめら。但シ其ノ時ハ青大將トバカリ思ヒ込ンダ程、内地ノソレニ酷似シテキル。シテ見レバ毒ノナイノハ言ハズト知レタコト。早速事務引繼ギヲ了ヘヤウト某氏ニサシ出スト。アツサリ首筋ヲ擱ンデ「ボケツト」ヘトノ筆者ノ期待ハ眞向カラ外レテ、モヅモヅト探リ出サレタノガ晒馬綿ノ布袋、然モ其ノ口ヲ破レヨトバカリ廣ク擴ゲテ、其ノ又片隅ヲソツトツマンデサシ向ケラレタツ、マシヤカサニハ、筆者ハ今更ニ我が身ノ粗暴サラ思ヒ返シテ、見合ニデモ行ツタヤウニボツトシタ頬ノホテリヲ禁ズル譯ニハ行カナカツタ。

「ほとゝぎすアノ聲ヲシテ蛇ヲ食ヒ」。

(續ク)

〇みやまちどめぐさノ年越し

東京ノ西空ニ起伏スル淺山ニハ各所ニみやまちどめぐさ (*Hydrocotyle japonica* MAKINO) ガアルガ、ソノ内ノ一山デ近來採集地トシテ名アル刈寄山附近ノ谷カラ物好キニモ東京ニ持ち來タシテ植エタモノデアル。夏ニハ他ノ同屬種ニ較ベテ太イ莖ガ四方八方ニ出テ、餘リ地面ニ接着セズニ伸長シテハ端正ナ感ジノ葉ヲ並ベル。一寸風情ガアル等ト高ク買ツタラ御禮ノ積リカ面白イ事ヲ教ヘテ呉レタ。トイフノハ秋モ半バヲ過ギルト地上ノ莖ノ先端ハ節間ノ短カイモノニナツテ急角度ニ地中ニ突入スル。1cm 近ク入ツテカラ再轉シテ水平ノ位置ヲ取り長サ 2cm 内外ノ白色多肉ノ一體トナル。ヨク見レバ極メテ小形ノ葉狀ノモノガ先



ニ近ク集リ附イテ居ル。コレガ出來ルト地上ノ部分ハ一切ヲ擧ゲテ嚴冬ノ霜雪ノ前ニ枯レハテシマフ。翌春、コノ部分ノ先端ハ延ビテ直立シ地上ニ

顔ヲ出スト間モナク再三分岐シテ節カラハ根ヲ下シ再ビ夏ノ形態ニ歸ルト越冬シタ部分ハ枯死シテソノ役ヲ終ルノデアル。ちどめぐさ (*Hydrocotyle sibthorpioides* LAMARCK) デハ年中地下莖ガアツテソノマ、冬ヲ越スノニ較ベテ、コノ方デハ冬ニハ莖ガナイ許リデナクカウシテ生存部分ハ絶エズ進ンデ行キ各部分ハ一年トハ生キテ居ナイワケデ、所謂多年生トハ趣ヲ異ニスル。

(前川文夫)